

◆平和安全法制法案および憲法について

◆法案の議論の受け止め方と憲法の平和主義への考えは

◆国会で議論を尽くすべき。平和主義は、人類共有の価値として普遍的意義を持つ。

◆区政について

◆区政運営の考えは。

◆区長 ビジョンを展覧させ、区民と議会と共に区政を推進。

◆大阪都構想と顛末について

◆考えと評価は。

◆区長 大都市行政に一石を投じるものであった。

◆みどりの風吹くまちビジョンのアクションプランについて

◆①素案からの変更点は。

◆②実情に合わせた柔軟な対応を。

◆企画 ①ビジョンとの整合性から見直しを行った。②状況に応じて機動的な対応を行う。

◆区政改革について

◆区長の基本姿勢について

◆①区民サービスの向上と財政健全化の両立を。②行政組織の効率化の推進を。③職員意識の変革と組織体制の改革を。④公共施設等総合管理計画策定の考えは。⑤特別区税増収と財政調整交付金減少の影響は。⑥財政の硬直化への対処を。⑦区債と基金のバランスの考えは。⑧健全な財政運営で福祉充実を。⑨ふるさと納税の増収を。⑩MERSへの万全な体制を。

◆区長 ①改革に取り組む。②③区民の視点に立つ職員を育成し、機動的かつ的確に組織運営。④シミュレーションを行い数値目標を明らかにする。⑤財政調整交付金の大幅な減収を懸念。⑥財源確保と事業の見直しに努める。⑦計画的に活用する。⑧持続可能な財政基盤を構築。

◆副区長 ⑤財政調整交付金の大幅な減収を懸念。⑥財源確保と事業の見直しに努める。⑦計画的に活用する。⑧持続可能な財政基盤を構築。

◆副区長 ⑤財政調整交付金の大幅な減収を懸念。⑥財源確保と事業の見直しに努める。⑦計画的に活用する。⑧持続可能な財政基盤を構築。

◆副区長 ⑤財政調整交付金の大幅な減収を懸念。⑥財源確保と事業の見直しに努める。⑦計画的に活用する。⑧持続可能な財政基盤を構築。

◆副区長 ⑤財政調整交付金の大幅な減収を懸念。⑥財源確保と事業の見直しに努める。⑦計画的に活用する。⑧持続可能な財政基盤を構築。

◆副区長 ⑤財政調整交付金の大幅な減収を懸念。⑥財源確保と事業の見直しに努める。⑦計画的に活用する。⑧持続可能な財政基盤を構築。

◆副区長 ⑤財政調整交付金の大幅な減収を懸念。⑥財源確保と事業の見直しに努める。⑦計画的に活用する。⑧持続可能な財政基盤を構築。

◆①基本的な考え方と改革に向けた決意を。②区民・学識経験者による検討会議の議論の視点は。③受益と負担を含めた行政サービス見直しの検討は。④区政の課題を区民が理解するための取り組みは。

◆区長 ①新時代の自治体へと自ら改革していく必要がある。

◆今後の区政の見直しについて

◆区長 ①見直しの視点は。②必要性とあり方を検証し精査を。③役割を明確化し、あり方や指導監督等を検討。

◆副区長 ①見直しの視点は。②必要性とあり方を検証し精査を。③役割を明確化し、あり方や指導監督等を検討。

◆①不解消の原因は。②新基準とは。③新基準での待機児童数は。④今後の具体策は。

◆教育長 ①1歳児の入園申請の大幅増。②算定除外の事由等が変更。③176人。④練馬こども園の推進と1歳児を重点にした施設整備と定員の拡充。

◆健康長寿社会の実現について

◆①総合事業の概要と開始後の状況は。②積極的働きかけを。③対策や計画は。④健康長寿社会のあり方をさらに検討し、実現に向けて努力を。

◆高年齢者福祉について

◆①区長「福祉」に対する考えは。②区政改革のタイムスパンは。③ビジョンの戦略計画に基づき策定される区政改革計画の期間と内容は。

◆区長 ①良質な多様な福祉サービスを提供できる社会を実現することが重要な役割。②取り組みの内容に合わせた適切に進める。③28年度からの4か年。区民サービスの質の向上等を想定。

◆高年齢者福祉施設について

◆①地域包括支援センターの委託化による区民のメリットは。②地域ケア個別会議の効果的な開催方法は。③地域包括支援センターと福祉事務所連携は。④地域包括支援センターが質の高いサービスを提供し、高齢者の生活の質を向上させること。⑤高齢者の生活の質を向上させること。⑥高齢者の生活の質を向上させること。

◆①不解消の原因は。②新基準とは。③新基準での待機児童数は。④今後の具体策は。

◆教育長 ①1歳児の入園申請の大幅増。②算定除外の事由等が変更。③176人。④練馬こども園の推進と1歳児を重点にした施設整備と定員の拡充。

◆健康長寿社会の実現について

◆①総合事業の概要と開始後の状況は。②積極的働きかけを。③対策や計画は。④健康長寿社会のあり方をさらに検討し、実現に向けて努力を。

◆高年齢者福祉について

◆①区長「福祉」に対する考えは。②区政改革のタイムスパンは。③ビジョンの戦略計画に基づき策定される区政改革計画の期間と内容は。

◆区長 ①良質な多様な福祉サービスを提供できる社会を実現することが重要な役割。②取り組みの内容に合わせた適切に進める。③28年度からの4か年。区民サービスの質の向上等を想定。

◆高年齢者福祉施設について

◆①地域包括支援センターの委託化による区民のメリットは。②地域ケア個別会議の効果的な開催方法は。③地域包括支援センターと福祉事務所連携は。④地域包括支援センターが質の高いサービスを提供し、高齢者の生活の質を向上させること。⑤高齢者の生活の質を向上させること。⑥高齢者の生活の質を向上させること。

◆①不解消の原因は。②新基準とは。③新基準での待機児童数は。④今後の具体策は。

◆教育長 ①1歳児の入園申請の大幅増。②算定除外の事由等が変更。③176人。④練馬こども園の推進と1歳児を重点にした施設整備と定員の拡充。

◆健康長寿社会の実現について

◆①総合事業の概要と開始後の状況は。②積極的働きかけを。③対策や計画は。④健康長寿社会のあり方をさらに検討し、実現に向けて努力を。

◆高年齢者福祉について

◆①区長「福祉」に対する考えは。②区政改革のタイムスパンは。③ビジョンの戦略計画に基づき策定される区政改革計画の期間と内容は。

◆区長 ①良質な多様な福祉サービスを提供できる社会を実現することが重要な役割。②取り組みの内容に合わせた適切に進める。③28年度からの4か年。区民サービスの質の向上等を想定。

◆高年齢者福祉施設について

◆①地域包括支援センターの委託化による区民のメリットは。②地域ケア個別会議の効果的な開催方法は。③地域包括支援センターと福祉事務所連携は。④地域包括支援センターが質の高いサービスを提供し、高齢者の生活の質を向上させること。⑤高齢者の生活の質を向上させること。⑥高齢者の生活の質を向上させること。

一般質問(要約)

健康長寿社会の実現と子育て支援対策を!

練馬区議会自由民主党 関口 和雄

練馬区議会自由民主党 うすい 民男

練馬区議会自由民主党 西山 きよたか

練馬区議会自由民主党 柳沢 よしみ

西武新宿線立体化促進で住みやすい街へ!

練馬区議会自由民主党 柳沢 よしみ

練馬区議会自由民主党 柳沢 よしみ

\*MERS: 中東呼吸器症候群(ウイルス性の感染症)の略。

\*ポツチャ: 重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目。

◆戦争法案について

①練馬の若者を戦場に送ることをどう考えるか。②戦争法案は憲法違反であるとするが区長の認識は。

①憲法の解釈や改正を議論すること、憲法尊重擁護義務は矛盾しない。国の動向を注視していく。

◆教科書採択について

①「日本が正しい戦争をした」と安倍首相のゆがんだ歴史認識への区長の考えは。

②採択は教育の政治的中性を脅かすことなく、現場教員の意見反映を。③教科書展示場所を増やし閲覧時間延長を。

①教育行政改善容認の指摘は理解できない。総務区は論評する立場にない。

②教職員の意見聴取は、教科研究会を活用。③今年は関分室でも展示。さらなる増設や延長の考えはない。

◆危機管理体制の構築を

①区民の命を守る最高責任者としての区長の姿勢は。

②地域の自助・共助のスキルを高めていくための専門分野の人材をどの様に活用されるのか。

①災害に強い安全なまち練馬の確立に向けて、全力で取り組む。危機管理②ねりま防災カレッジの講座に講師として迎えている。

◆行政改革について

①「行政評価推進会議」の方向性は。②これまで進めてきた「行政評価委員会」との整合性は。

①今後の区政改革の内容等を継続的に検討し、区長に提言するため設置。②行政評価委員会は時限的に設置。推進会議の提言から行政評価の第三者評価のあり方を検討。

◆介護保険制度改革について

◆国民健康保険料について

①国の定率補助を総医療費の45%へ戻すよう求めよ。②広域化でも区の一般財源を投入せよ。③23区が引き下げて一致して進めるよう力尽くせ。

①国の削減分は都が担っており直接保険料には影響しない。②現在すでに多額の繰入金が必要な状態。③23区一致で制度の質向上に取り組みが、保険料引き下げは困難。

戦争法案を廃案へ、練馬区の姿勢を示せ！

日本共産党練馬区議団 有馬 豊

◆介護保険料について

①区の法定外繰り入れと国の負担引き上げを求め、保険料を引き下げよ。

◆高年齢者支援策について

①利用要件を緩和し、介護通所サービス利用以外は支援事業との併用認めよ。②施設

◆地域医療について

①認識に誤りがある。ビジョンの戦略計画に掲げ、5か年の取り組みで病院整備を計画化。③区は今後を見据えて医療・介護を充実

◆中途障害者支援事業について

①利用要件を緩和し、介護通所サービス利用以外は支援事業との併用認めよ。②施設

◆高年齢者支援策について

①円滑に実施できる。②28年度に地域密着型サービスに移行する小規模の通所介護サービス事業者への説明は。③特養入所者への影響は。④地域における高齢者の支え合いの構築は。

◆高年齢者支援策について

①円滑に実施できる。②28年度に地域密着型サービスに移行する小規模の通所介護サービス事業者への説明は。③特養入所者への影響は。④地域における高齢者の支え合いの構築は。

◆高年齢者支援策について

①円滑に実施できる。②28年度に地域密着型サービスに移行する小規模の通所介護サービス事業者への説明は。③特養入所者への影響は。④地域における高齢者の支え合いの構築は。

◆高年齢者支援策について

◆500床急性期病院について

①5大病院構想を後退させた理由を示せ。②500床病院整備を重点課題とし、整備や開設の時期を示せ。③国に病床削減計画の中止と都へ単独医療圏求めよ。

①内容は応じて併用を認めている。②週2日に限定せず、障害の状況等を考慮し個別に判断している。③送迎が必要な人には区内鉄道駅まで運行している。利用継続も可能で1年の制限はない。

◆関越高架下活用について

①高架下利用の例外許可で住民の意向確認は不同意が多い施設整備は凍結を。

◆企画について

①区民意見を踏まえ住環境に配慮し設計。地域住民には引き続き丁寧な説明し、28年度整備完了に向け取り組む。

◆利用要件を緩和し、介護通所サービス利用以外は支援事業との併用認めよ。

①利用要件を緩和し、介護通所サービス利用以外は支援事業との併用認めよ。②施設

◆学校給食費・学童クラブ等の保育料・学用品購入等が児童手当から天引き可能となつた。選択制を含め、導入に向けた調査・研究も必要では。

①乳幼児健診は高い受診率を示すが、未受診者への対応は。②改正内容は難しい文言があるが、教育現場での指導方法は。③高齢者の事故防止対策は。④高齢者向けのヘルメット購入助成は。⑤軽車両である自転車一般道の走行には不安を抱く。走行環境の整備計画は。

◆交通安全対策について

①警察とも連携し、交通安全教室での啓発等に取り組む。②校長会等で、改正法の内容および自転車の安全な乗り方等を指導するように周知。③交通安全教室の充実や交通安全協会や町会等と連携して啓発に努める。④まずは着用を働きかける。⑤自転車レーンの設置を推進する等、走行環境の整備に努める。

◆交通安全対策について

①警察とも連携し、交通安全教室での啓発等に取り組む。②校長会等で、改正法の内容および自転車の安全な乗り方等を指導するように周知。③交通安全教室の充実や交通安全協会や町会等と連携して啓発に努める。④まずは着用を働きかける。⑤自転車レーンの設置を推進する等、走行環境の整備に努める。

◆交通安全対策について

①警察とも連携し、交通安全教室での啓発等に取り組む。②校長会等で、改正法の内容および自転車の安全な乗り方等を指導するように周知。③交通安全教室の充実や交通安全協会や町会等と連携して啓発に努める。④まずは着用を働きかける。⑤自転車レーンの設置を推進する等、走行環境の整備に努める。

◆交通安全対策について

◆行政改革の計画について

①職員数を減らすと同時に職種のバランスの改善を。②行政改革には職員の意識改革が必要では。③職員数の削減で捻出できた財源の配分は。

①他区の職員構成も参考に対応。②職員の意識を住民本位に変革することが不可欠。③ビジョンに掲げた施策に重点的に配分する。

◆保育園と待機児童対策について

①新設の保育所をつくり続けることには疑問を覚える。私立幼稚園を活用した練馬こども園の増設を。②練馬こども園への移行に伴う、保育士の人材確保等の課題への対応は。③私立幼稚園に対しては必要な予算措置を。

◆新設の保育所をつくり

①新設の保育所をつくり続けることには疑問を覚える。私立幼稚園を活用した練馬こども園の増設を。②練馬こども園への移行に伴う、保育士の人材確保等の課題への対応は。③私立幼稚園に対しては必要な予算措置を。

◆私立幼稚園を活用した待機児童対策を！

①拡大に努める。②区立保育園の看護師・栄養士による技術的支援や職員交流等を実施。③私立幼稚園協会と協議し補助充実の仕組みを構築し27年度予算に反映した。

◆区立保育園の委託計画について

①平成28年度以降の委託計画は。②区は委託方針について、今までの踏み込む必要があるのでは。③保育料と補助のあり方の見直しを。

◆区政改革計画の検討の中で29年度以降の計画を示す。

①運営業務委託だけでなく民営化も視野に入れて検討を行う。③検討を進める。

◆区立小中学校が抱える課題

①病床を増やすため、都に積極的に意見を。②医療環境を整備する。

◆地域医療について

①病床を増やすため、都に積極的に意見を。②医療環境を整備する。

◆地域医療について

◆拡大に努める。

①平成28年度以降の委託計画は。②区は委託方針について、今までの踏み込む必要があるのでは。③保育料と補助のあり方の見直しを。

①運営業務委託だけでなく民営化も視野に入れて検討を行う。③検討を進める。

◆区立小中学校が抱える課題

①病床を増やすため、都に積極的に意見を。②医療環境を整備する。

◆地域医療について

◆拡大に努める。

①平成28年度以降の委託計画は。②区は委託方針について、今までの踏み込む必要があるのでは。③保育料と補助のあり方の見直しを。

①運営業務委託だけでなく民営化も視野に入れて検討を行う。③検討を進める。

◆区立小中学校が抱える課題

①病床を増やすため、都に積極的に意見を。②医療環境を整備する。

◆地域医療について

◆拡大に努める。

①平成28年度以降の委託計画は。②区は委託方針について、今までの踏み込む必要があるのでは。③保育料と補助のあり方の見直しを。

①運営業務委託だけでなく民営化も視野に入れて検討を行う。③検討を進める。

◆区立小中学校が抱える課題

①病床を増やすため、都に積極的に意見を。②医療環境を整備する。

◆地域医療について

◆拡大に努める。

①平成28年度以降の委託計画は。②区は委託方針について、今までの踏み込む必要があるのでは。③保育料と補助のあり方の見直しを。

①運営業務委託だけでなく民営化も視野に入れて検討を行う。③検討を進める。

◆区立小中学校が抱える課題

①病床を増やすため、都に積極的に意見を。②医療環境を整備する。

◆地域医療について

◆拡大に努める。

①平成28年度以降の委託計画は。②区は委託方針について、今までの踏み込む必要があるのでは。③保育料と補助のあり方の見直しを。

①運営業務委託だけでなく民営化も視野に入れて検討を行う。③検討を進める。

◆区立小中学校が抱える課題

①病床を増やすため、都に積極的に意見を。②医療環境を整備する。

◆地域医療について

◆オスプレイの配備について  
 ①欠陥機オスプレイの危険性への認識は。②周辺自治体や住民を無視した動きについて区長の認識は。③横田基地への配備の撤回を求めよ。

◆子どもの貧困について

①ひとり親家庭の貧困率は54%。貧困家庭の実態調査を。②空き家の借り上げや家賃補助制度を創設し支援を。③婚姻歴のない母子家庭に対する寡婦控除のみならず適用を。④就学援助の基準引き上げや援助品目の拡大、支給金額の引き上げを。

◆区長の基本姿勢について  
 ①憲法学者が「集団的自衛権は違憲」と発言するなど安全保障関連法案について民意は明らかに反対である。現状をどう考えるか。②区民と議論し兵器と原発の核を廃絶する非核都市宣言に変えよ。

◆生活困窮者支援策について  
 ①就労困難者のニーズに応えるため伴走型の「就労準備支援事業」に取り組み。②中間的就労を担う事業者となれるよう区内の市民団体・NPOなどへの支援・育成を。

◆子どもたちの貧困解消へ、福祉施策の強化を  
 ①1歳児の入園申請の大幅増が主な原因。計画を前倒しするとともに、1歳児を重点に取り組み。②認可保育所と小規模保育事業の整備を並行して拡充。③保護者の意向を十分に把握し、わかりやすく丁寧に案内していく。

◆待機児解消と新制度について  
 ①375人の待機児が出た原因と教訓を明らかにせよ。②希望者がすべて入所できる認可保育園増設計画を。③安上がりな小規模保育でなく認可保育園の増設を。④保護者の希望を尊重し、各施設の利用料等の内容をよく知らせよ。

◆高齢者施策

①入所の必要性を見込み、平成29年度末までに340床を整備。着実な整備に努める。

◆道路施策について  
 ①学校を分断する補助135

◆エネルギー対策について  
 ①火山活動や地震が頻発。原発はゼロにするべき。②自立分散型、エネルギーの地産地消を具体的に示せ。

◆環境  
 ①原発への依存度を可能な限り低減すべきと考える。②「住宅都市にふさわしい自立分散型エネルギー社会へ」を戦略計画に位置付けた。環境(仮称)練馬区エネルギービジョンで再生可能エネルギー等の利用を検討。

◆防災について  
 ①国も有効性を認められた感震ブレイカーの普及促進を。②耐震化助成額の引き上げや積極的助成など体制の強化を。

◆都市整備

①国も有効性を認められた感震ブレイカーの普及促進を。②耐震化助成額の引き上げや積極的助成など体制の強化を。

◆教育について  
 ①大綱の策定過程で区民の意見を聞け。②教育委員会の独立性を確保するため、大綱の策定を待たずに教育委員

◆教育振興  
 ①区民意見反映制度の活用を検討。教育長

◆学習指導について  
 ①英語のコミュニケーション能力向上への考えは。②英会話について中学卒業時点で目指すべき姿とカリキュラムは。③英検等外部の検定機関を取り入れては。④英語教

◆財政の展望について  
 ①少子高齢化の進行による生産年齢人口の減少が財政に影響をおよぼすと懸念されるが、区の特性を生かすための施策は。②今後の長期的な財政運営の展望をどのように推測しているのか。③平成26年度税制改正において行われた「法人住民税の一部国税化」により、区の財政運営にどのような影響があるのか。

◆若者代表として考える未来への責任

◆選挙権年齢引き下げについて  
 ①選挙権年齢引き下げに

◆空き家対策について  
 ①区内空き家の実態調査対象件数は。②空き家状況の

◆子どもたちのための教育改革を！  
 ①子どもたちのための教育改革を！

◆文化芸術の振興について  
 ①民間人材をどう活用し、

◆子育て支援策および保育士の労働環境改善について  
 ①国の指針とは別に区独自の算出基準を策定し、現場に即した待機児童の調査が必要では。②在宅子育てに対する区としての支援策は。③保育士不足解消のため、区とし

◆生活保護について

①将来の生活保護費の増大をどう予測しているか。②受給者の就労による自立のための取り組みは。③不正受給者の把握への取り組みおよび防止策は。

◆地域文化  
 ①文化芸術協会に第一線で活躍する演出家等を招へいし、文化芸術施策を推進

◆中小企業振興について  
 ①区内企業の役割は。②ビジネスサポートセンターの活用と展望は。③インキュベーション施設の検討を。④空き店舗対策は。⑤区内企業の育成と物品等の分離発注は。

◆産業経済  
 ①地域経済の活性化と雇用の創出に寄与。②創業・起業のための支援メニューの充実に取り組み。③導入効果を検討。④店舗改修費等を支援。⑤適切な発注に努め、区内産業の育成を図る。

◆防災について  
 ①町会掲示板に避難拠点表示を。②帰宅困難者対策は。③具体的検討。④より実効性のある支援態勢を構築。

◆地域文化

①文化芸術協会に第一線で活躍する演出家等を招へいし、文化芸術施策を推進

◆中小企業振興について  
 ①区内企業の役割は。②ビジネスサポートセンターの活用と展望は。③インキュベーション施設の検討を。④空き店舗対策は。⑤区内企業の育成と物品等の分離発注は。

◆産業経済  
 ①地域経済の活性化と雇用の創出に寄与。②創業・起業のための支援メニューの充実に取り組み。③導入効果を検討。④店舗改修費等を支援。⑤適切な発注に努め、区内産業の育成を図る。

◆防災について  
 ①町会掲示板に避難拠点表示を。②帰宅困難者対策は。③具体的検討。④より実効性のある支援態勢を構築。

一般質問(要約)

日本共産党練馬区議団 坂尻 まさゆき

練馬区議会民主党・無所属クラブ 井上 勇一郎

一人ひとりが尊重される、自治のまち練馬へ  
 生活者ネットワーク やない 克子

子どもたちのための教育改革を！  
 練馬区議会自由民主党 むらまつ 一希

平成27年第二回定例会の一般質問は、6月16日・17日・18日の3日間、12名の議員が行いました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載しています。全文は1か月後に発行予定の会議録をご覧ください。会議録は、区立図書館、区民情報ひろば(区役所西庁舎1階)、区議会ホームページで閲覧できます。また、質問の様子は区議会ホームページでご覧になれます。ぜひご利用ください。